

福島第一原子力発電所ALPS処理水希釈放出設備および関連施設 設置工事 測量櫓等の仮設建造物の撤去開始について

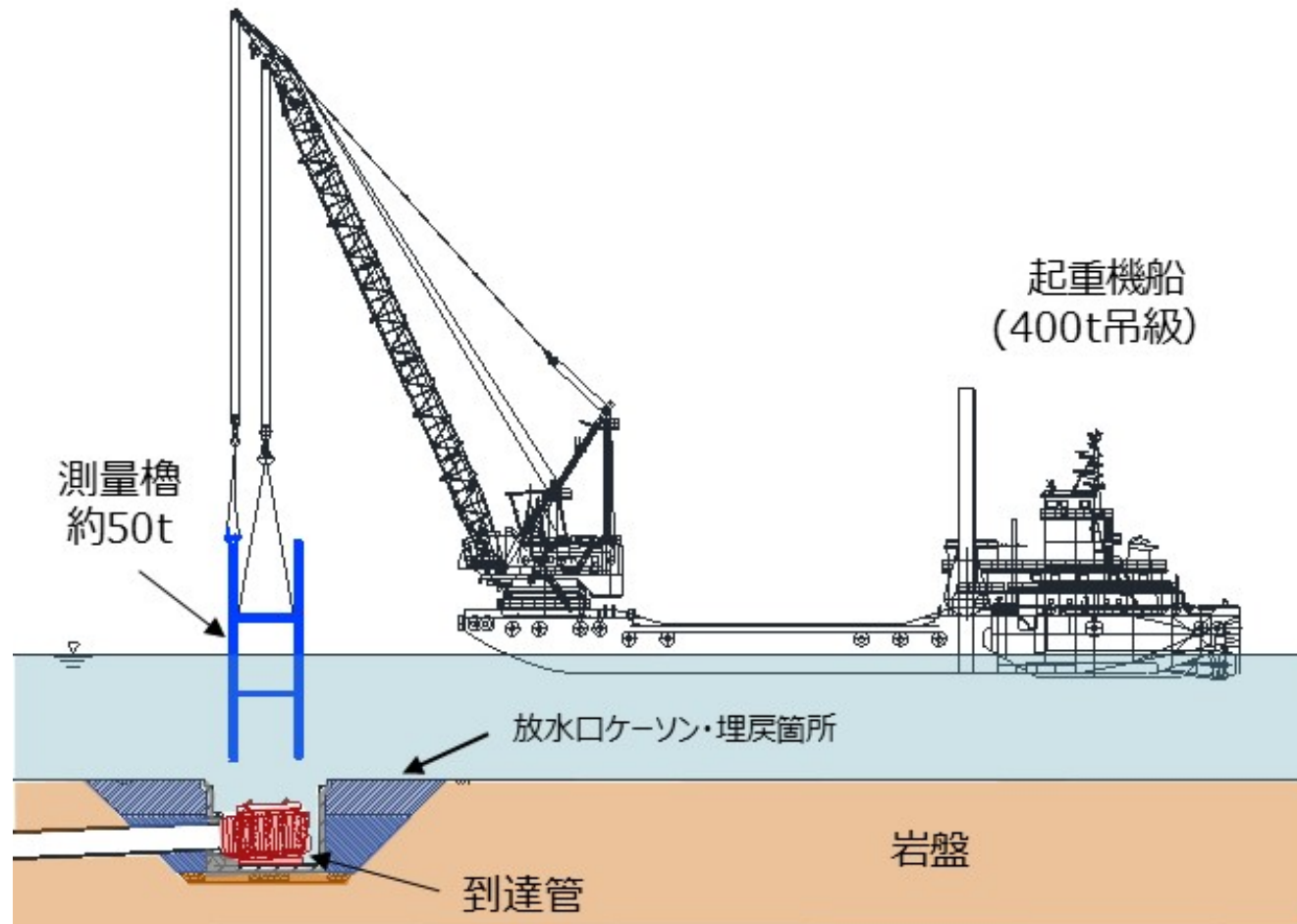
< 参 考 資 料 >
2023年3月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2021年12月21日、ALPS処理水希釈放出設備等の設計等について、「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画変更認可申請書」を原子力規制委員会に申請しておりましたが、7月22日、原子力規制委員会から認可をいただきました。
- また、2021年12月20日、「東京電力福島第一原子力発電所の廃炉等の実施に係る周辺地域の安全確保に関する協定書（以下、廃炉安全確保協定）」に基づき、ALPS処理水希釈放出設備等の設置に係る「事前了解願い」を、福島県、大熊町および双葉町に提出しておりましたが、その後、必要な安全対策の対応状況をご確認いただき、8月2日に事前了解をいただきました。
- ALPS処理水希釈放出設備等の工事については、8月4日から順次開始しており、放水トンネルの設置工事も同日から開始しています。海上工事においては、11月18日に放水口ケーソン据付けが完了したことから、放水口ケーソン周囲の埋戻しを実施するためにシールドマシンを放水口手前の安全な位置に停止させました。その後、放水口ケーソン埋戻しを12月8日から開始をし、2月14日に完了しました。
- 放水口ケーソンの設置位置が固定されたことを確認した後、起重機船にて測量櫓を撤去します。
<2月14日までにお知らせ済み>

- ケーソン据付位置の測量を実施し、放水口ケーソンがトンネル掘進可能な位置で固定されていることを確認できたことから、今後準備が整い次第、測量櫓等の仮設建造物の撤去を開始いたします。
- 引き続き、気象・海象等を注視しながら、安全最優先で工事を実施してまいります。

測量櫓等撤去の概要

- 放水口ケーソン周囲の埋戻しが完了し、放水口ケーソン位置が固定されたことを確認したため、起重機船にて測量櫓等の仮設構造物を撤去します。
- なお、測量櫓は、トンネルを正確に到達させるためにケーソン据付け位置を確認するものです。具体的には、櫓の頂部に測量機器を設置し、位置情報を取得するために一時的に使用していました。



測量櫓等の仮設構造物撤去作業イメージ図

測量櫓等の仮設建造物の撤去の流れと切断機を使用した撤去イメージ

- 測量櫓等の仮設建造物の撤去は、起重機船を使用して建造物の切断及び吊上げを実施します。
- また、撤去に先立ち、潜水士による潜水調査、仮設建造物の撤去等の準備作業を実施します。
- 次に、起重機船クレーンで吊上げた切断機を使用して測量櫓（鋼管杭4本）を切断し、吊上げて撤去します。
- 引き続き、作業中は海水モニタリングと工事区域境界（4か所）における濁度測定を実施します。

